

Dreams come true

大阪市立淀中学校
校長室便り ①
令和2年4月14日

生徒のみなさんへ

校長先生からメッセージがあります！

新2年、新3年生のみなさん、進級おめでとうございます。そして、新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

この4月から、伝統ある淀中学校の校長として着任しました尾崎士郎と申します。みなさんとともにより良い学校を作りたいと強く決意しています。よろしくお願ひいたします。

さて、日曜からの雨で校門の桜の花が散り始めました。本当なら桜が満開の中を元気に登校してくれることを望んでいましたが、始業式は延期、登校日も中止となり、このような形で新年度を迎えることになろうとは全く予想もしていませんでした。そして、今の状況は誰しもが初めての経験です。

今、新型コロナウイルス感染症に関する情報がたくさん発信され、国内や外国の状況もニュース等で知っていることと思います。



ところで、人類の歴史は感染症との戦いの歴史でもあります。1720年はフランスでペストが大流行し、1817年からはコレラが、1920年はスペイン風邪（インフルエンザ）が世界的に大流行しました。そして、2020年は新型コロナウイルスです。感染症は約100年ごとに人類に挑戦してきています。

しかし、それぞれの感染症で多くの犠牲があったものの、人類はウイルスに打ち勝つことで、今の繁栄があるのです。今現在は大変な状



況ですが、人類は必ず、ウイルスに勝利し、安心・安全な日常をとりもどすことは間違ひありません。そう信じています！

では、今までの感染症との戦いに人類が打ち勝ってきた一番大事であったことは何だったと思いますか？ 当然、医療や薬の開発もそうですが、例えば今回のように学校を休みにする、大勢の人が集まるところに行かない、手洗い・うがいをきちんとするなど、一人一人の「行動変容（人々の行動の変化）」が大切なのです。みんなが危機感



をもって、自分と周りの人、そして、社会を守るために行動をとることで、世界の人々を守ることにつながるということをしっかりと自覚してほしいのです。

大阪にも緊急事態宣言が出されました。もう他人事ではありません。今、起こっていることを自分の事としてとらえ、行動してください。まだまだウイルスとの戦いは続きます。

「Stay Home」「Save Lives」 あなたとあなたの大切な人、そして社会を守るための行動を取ってください。

外出もできず、ずっと家にいること。学校も部活動もありません。みなさんには、我慢を強いることばかりです。しかし、それは命を守るために行動なのです。それぞれが新型コロナウイルスに打ち勝つための意識の改革と行動をもって、この苦境を一丸となって乗り越えましょう！

5月になって、学校が再開されたら令和2年度の始業式をやりましょう。みなさんに会えることを楽しみにしています。そして、一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束することを祈っています。

（大阪市立淀中学校 校長 尾崎士郎）



大阪市立淀中学校